

1 今年度の取組と自己評価

(1) 教育活動への取組と自己評価

教育活動への取組	自己評価
<p><b>【学習指導体系の充実】</b></p> <p>①カリキュラム・マネジメント</p> <p>②特色ある授業の展開</p> <p>③授業力の向上と研鑽</p> <p>④教科横断型授業プログラムの開発</p> <p>⑤探究学習の充実</p> <p>⑥新型コロナウイルス感染症による臨時休業期間の学習機会の提供</p>	<p><b>【学習指導体系の充実の取組】</b></p> <p>①基礎的・汎用的能力と知識・技能を育成し、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を実現するため、各教科、各個人について「授業評価」を通して指導内容を評価し、授業改善を行った。生徒の学力向上、学習習慣の確立に資するため、週末課題の継続実施、長期休業期間中の講習体制の充実に取り組んだ。教職員研修センター指導主事によるカリキュラム・マネジメントに関する研修を実施し、理解の深化を進めた。</p> <p>②キャリア教育の更なる推進のため、「キャリア・デザイン（産業社会と人間）」「総合的な学習の時間（人間と社会、課題研究）」に全員体制で取り組み、「大学入試対応科目」など多彩な学校設定科目を展開し、引き続き学習指導の特色化を図った。</p> <p>③年間を通して計画的な研究授業の機会を設定し、若手教員及び中堅教員の授業力及び実践的対応力を高めることができた。また校内研修により、全教員で情報の共有を図ることができた。</p> <p>④地歴科と工業科、地歴科と情報科による教科横断型授業プログラムを開発した。その際、早稲田大学教職大学院との連携を行った（令和2年11月18日）。</p> <p>⑤生徒の課題研究における研究テーマと進路決定状況を分析し、課題の抽出を行った。校内研修を通して、データ分析の方法等の理解を深めた。</p> <p>⑥郵送により全生徒への教材配布を行い、インターネット上で課題の指示を行った。必要に応じて、同時双方向ミーティングでの講義等を行い、Classiにて質問を受け付けた。</p>
<p><b>【総合的なキャリア教育】</b></p> <p>①3年間の体系的なキャリア教育</p> <p>②キャリア・コーディネータ</p> <p>③グローバル教育</p>	<p>①各年次と進路部が連携して体系的なキャリア教育の全体計画を編成し、実施・管理するとともに、思考力、判断力、表現力の向上に結びつくキャリア教育を系統的に取り組んだ。質問紙調査を通して、年次毎に効果測定を実施し、次年度への指針を得た。</p> <p>②キャリア・コーディネータを指名し、2年次学級における全員のキャリア・カウンセリングを中心に、進路情報の理解及び卒業後の進路選択の支援、科目選択に関する支援、担任等との情報共有の更なる向上に取り組んだ。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響から、留学への積極的な働きかけはできなかった。TOKYO GLOBAL GATEWAY（東京都英語村）の活用を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響から、実施計画を変更した。</p>

<p>④キャリア教育の評価と成果の分析</p> <p>⑤キャリア教育の視点を取り入れた学習指導の実施</p> <p>【進学対策に向けた指導体制】</p> <p>①特別講習の拡大</p> <p>②多摩美術大学との連携</p> <p>【東京都教育委員会指定校等としての推進】</p> <p>①理数研究校指定校</p> <p>②人権教育</p> <p>③生命尊重教育</p>	<p>④全学年において2回の質問紙調査を実施し、得られたデータの分析を通して、本校におけるキャリア教育の評価を行った。</p> <p>⑤若手研修の研究授業において、指導案に必ず「キャリア教育との関連」を記入させ、勤労観・職業観や、基礎的・汎用的能力の育成をどのように意識して授業を実施するかを明示させた。</p> <p>①四年制大学等への進学指導に向け、土曜寺子屋及び長期休業期間中の発展講習を充実させる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で休業日が短縮されたり、緊急事態宣言の発令により、日数を確保することができなかった。また夏季学習合宿も実施できなかった。</p> <p>②多摩美術大学との高大連携教育に継続して取り組み(シルク・スクリーンの出張講義 令和2年12月24日)、美術・芸術分野への進学希望生徒の感性、思考力、技能力等の向上に生かした。</p> <p>①理科、数学分野に対して広く興味・関心を高め、課題解決能力、探究心、思考力等の育成を目指すため、理科、数学、工業各教科の特性を生かし、同教科間で連携した総合学科版理数教育を引き続き展開した。Tokyoサイエンスフェアに参加し、ポスター発表を行った(令和3年3月14日)。</p> <p>②生徒指導指針に基づく組織的指導、体罰の根絶、いじめ等の未然防止を図るため、年3回のアンケート調査により諸課題を的確に把握しスピーディに対応した。</p> <p>③保護者との間で、生徒情報の共有を進めた。また地域との専門機関との関係作りを進めた。</p>
--	---

## (2) 重点目標への取組と自己評価

教育活動への取組	具体的な取り組み・自己評価
<p>【学習指導】</p> <p>①総合学科の特色を活かした多様な選択授業科目を設置し、カリキュラム・マネジメントの視点により、意図的かつ計画的な学習指導の充実を図る。</p> <p>②本校の学力スタンダードに基づく模擬試験の実施、教科指導の検証・充実、教員相互の授業研究、生徒による授業評価を生かした授業改善、「キャリア・デザイン」での学年共通したアクティブ・ラーニングの実践、言語活動・探究活動の充実など、学力向上の視点と授業力に裏付けされた質の高い授業展開を図る。</p> <p>③スコア型英語外部試験や、学習コンテンツを利用したポートフォリオ作成等を通して、新たな大学入試制度に向け指導の充実を図る。また、日本漢字能力検定準2級、実用英語技能検定準2級、論理言語力検定等の実用的な資格取得を担当教科が組織的に展開し、生徒の資質・能力を向上させる。</p>	<p>【学習指導の取組】</p> <p>○1年次「数学A」「英語表現I」「美術I」αコース(美術大学進学希望者向)、βコース(美術基礎・応用)を継続し、進学対応型学習指導体系を確立。</p> <p>○スコア型英語外部試験としてGTECを導入し、1・2年次に対して4技能検定を実施した。</p> <p>○Classiを導入し、ポートフォリオの作成など、計画的な指導を開始した。</p> <p>○資格取得に関して、日本漢字能力検定2級程度：10名、実用英語技能検定2級程度：7名、ワープロ検定等2級程度：20名合格。論理言語力検定：2年次 2級121名、準2級29名、1年次 3級162名、準3級13名合格</p>

### 【進路指導】

- ①四年制大学への推薦入試、一般入試、大学入試センター試験対応の進学対策を進め、週末課題、講習、学習合宿、体験授業、講演会、面接指導、論文指導等について、各分掌が連携して組織的、計画的な指導の充実を図る
- ②生徒の進路実現を確実なものとするため、「キャリア・デザイン」「総合的な学習の時間（人間と社会・課題研究）」等によるキャリア教育を体系的に充実させる。また、進路室からの情報発信力の向上、キャリア・コーディネータによる2年次生徒全員面談を実施し、相談体制を充実させる。
- ③保護者対象進学説明会等を通して、進路意識醸成の観点から入学時から生徒の進路実現に向けて保護者とともに意図的・計画的に支援する。そのため、各年次、年1回以上三者面談を実施する。

- 学校評価「世田谷総合高校に入学して良かった」肯定的評価：生徒 83.7%・保護者 93.3%。
- 学校評価「主体的に学び、行動するような指導がされている」肯定的評価：生徒 84.6%・保護者 83.9%・教職員 81.3%。
- 学校評価「生徒の興味関心・進路に合った選択科目が整備されている」肯定的評価：生徒 92.8%・保護者 94.5%・教職員 95.7%。
- 学校評価「学校は、学力を向上させることに熱心時取り組んでいる」肯定的評価：生徒 77.5%・保護者 68.6%・教職員 67.3%。

### 【進路指導の取組】

- 1年次「新入生フレッシュマンセミナー」は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。  
「キャリアデザイン」において、「職業レディネステスト[第3版]」を実施し、生徒の自己理解を深めた。  
2年次の「総合的な探究の時間」では、「二子玉川商店街を盛り上げようプロジェクト」を実施し、ポスター、PR動画等の作成を実施した。作品の校内選考を行い、二子玉川ライズ「Futako Fun Base」で作品展示を行った。  
「総合的な探究の時間（課題研究）」ではテーマによる論文作成に取り組み、「東京都総合学科教育活動成果発表会」に映像参加した。
- 1年次からの体系的な進路指導を充実させるため「キャリア・コーディネータ」を進路指導担当に位置付けており、2年次生徒全員と面談の実施し、具体的な進路相談体制の充実に努めた。
- 「生徒対象進路ガイダンス」「進学説明会」「分野別説明会」を、年間を通して計画的に実施。「保護者対象進路説明会」を1回、開催。
- 夏季講習を実施し、生徒 243 名（延べ）が参加した。
- 土曜寺子屋の実施は1回にとどまり、生徒 8 名参加。
- 学校評価「進路指導の情報提供や相談体制などキャリア教育が充実している」肯定的評価：生徒 88.7%・保護者 78.9%。
- 学校評価「進路決定についての指導は役立っている」肯定的評価：生徒 87.6%・保護者 76.8%。
- 学校評価「生徒自身の生き方、あり方について、考える機会が設けられている」肯定的評価：生徒 80.7%・保護者 74.7%。

### 【生活指導】

- ①生活指導規定に基づき、挨拶の励行、身だしなみ規定の順守、授業規律を全教職員が徹底する。また、教室環境の整備と安全点検を適切に行い、学習環境の維持・向上に努める。
- ②交通事故防止、犯罪被害防止、問題行動防止の指導を計画的に行い、生徒の安全と健全な態度を育む。
- ③人としての在り方生き方を深く考えさせる教育を充実させるため、SNS利用のモラルを教科「情報」「人間と社会」の指導機会を活用するとともに、ホームルーム活動や各種行事を通して、人間関係能力、判断力、コミュニケーション能力の向上を目指す。

### 【特別活動・部活動】

- ①TOKYO GLOBAL GATEWAY（東京版英語村）、次世代リーダー育成道場、トビタテ留学JAPAN高校生コース、外国語体験講座、海外短期留学等への参加を奨励し、国際理解教育を推進してグローバル人材の育成を目指す。
- ②教科指導、ホームルーム活動、学校行事を通して、主権者教育を適切に行う。
- ③入学者選抜において文化・スポーツ等特別選抜を2種目以上実施する。また、部活動においてはバランスの取れた生活と生徒の成長の視点から休養日を週1日以上設定するとともに、諸活動を通じて望ましい人間関係の伸長を目指す。
- ④東京2020大会以降のレガシー構築を見据えて、国際理解教育を通じたオリンピック・パラリンピック教育を推進する。

### 【生活指導の取組】

- 全教員による定刻の授業開始。
- 全教員による校内巡回。
- ノーチャイム・ノー放送の継続による自己管理姿勢の育成。
- 毎朝の校門指導、日常の挨拶・身だしなみ指導の継続。
- 今年度より、夏季のポロシャツの着用が開始された。
- スクール・カウンセラーと担任、特別支援教育委員、保護者との情報の共有化による相談活動の充実。
- SNS利用講習会を、ネット教材を用いて実施した（令和2年6月）。
- 学校評価「生活指導の方針がはっきり示されている」肯定的評価：生徒73.0%・保護者75.1%。
- 学校評価「いじめや体罰をなくし、落ち着いた環境で学べるよう積極的に取り組んでいる」肯定的評価：生徒86.8%・保護者82.5%。

### 【特別活動・部活動の取組】

- TOKYO GLOBAL GATEWAY（東京都英語村）の活用を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で、来年度に延期した。
- 教科活動や特別活動等を通して、主権者教育の意義を説き、選挙権の配慮等適切に実施。
- 租税への啓蒙活動の一環として、3年次生に対し「租税教室」を実施（令和2年12月18日）。
- 「文化・スポーツ等特別推薦」2種目実施。応募倍率、ダンス5.0倍、サッカー（女子）1.0倍。
- 部活動の活動方針に基づいた指導を実施した。ダンス部が関東第3位となり、全国大会への出場権を得たが、緊急事態宣言の発令によりビデオ審査となり、第5位となった。
- オリンピック・パラリンピック教育の一環として、「ゴールボール」の体験を実施し、パラリンピック競技の理解を深めた（令和2年12月24日）。
- スクール・カウンセラーと担任、特別支援教育委員、及び保護者との情報の共有化による相談活動の充実。
- SNS利用講習会を、ネット教材を用いて実施した（令和2年6月）。
- いじめに関する全校調査年3回実施。
- 学校評価「部活活動は活発である」肯定的評価：生徒82.5%・保護者77.7%。
- 学校評価「学校行事は充実している」肯定

<p><b>【安全・健康づくり】</b></p> <p>①スクール・カウンセラーによる1年次生徒全員面談を実施し、養護教諭とも連携して生徒一人ひとりの心のケアに努める。また、スクール・カウンセラーを活用し研修会等で共通理解を図り組織的な支援を行う。</p> <p>②セーフティ教室、SNS活用講習会、薬物乱用防止教室、保健講話、避難訓練、宿泊防災訓練等を通して、健全育成と実践的な防災意識の涵養を図るとともに、学校事故防止に努める。</p> <p>③生徒の発達段階に応じて体力と運動能力を平成32年度までに全国平均値レベルを目標に段階的に向上させるため、体育授業時の基礎体力づくりを継続して実施し、運動の重要性の理解と心身共に健康な人間の育成を目指す。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、東京都教育委員会からの指示を遵守し、生徒・教職員の健康・安全を確実に確保する。</p> <p>⑤SOSの出し方に資する教育を充実させ、自他の生命を尊重する態度を育成する。</p> <p><b>【環境教育】</b></p> <p>①学習環境の整備と地球環境に優れたライフスタイルを実践するため、教室環境の整備、ゴミ縮減、リサイクル、分別指導等を徹底する。</p> <p>②環境美化の意識を育てるため、定期的に校舎内外を含めた美化活動を行う。</p> <p><b>【募集・広報、経営企画】</b></p> <p>①保護者向発信文書や教育活動の取組を積極的にホームページやSNSに掲載し、教育活動に係る情報発信と適切な説明責任を果たす。また、中学校や地域等が開催する進路説明会には可能な限り参加し、広報活動の充実を図る。</p> <p>②各種情報をホームページ等に掲載する組織体制を拡充し、情報提供の頻度を増加させる。</p> <p>③授業料、徴収金、予算等、財務会計上の執行管理を適切に行い、透明性及び信頼性を確保する。</p> <p>④施設開放や公開講座により、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>的評価：生徒 81.3%・保護者 74.8%。</p> <p><b>【安全・健康づくりの取組】</b></p> <p>○スクール・カウンセラーによる1年生徒全員面談を6月から実施。コロナウイルスによる臨時休業期間には、生徒が電話でスクール・カウンセラーのカウンセリンを受けられるよう体制づくりを行った。</p> <p>○学校保健委員会の実施（2月に書面開催）。</p> <p>○宿泊防災訓練は実施しなかった。できる範囲で避難訓練を実施した。</p> <p>○例年の東京消防庁と連携した上級救命講習ができなかった。</p> <p>○保健体育の授業において、基礎トレーニングを実施し、発達段階に応じた体力づくりの取組を図る。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、東京都教育委員会の指示に従い、適切に対応を行った。</p> <p>●学校評価「生徒の心身の悩みに応えられるような指導が行われている」肯定的評価：生徒 71.7%・保護者 66.0%。</p> <p>●学校評価「教員は、家庭と連絡を取りながら指導に当たっている」肯定的評価：保護 58.3%。</p> <p><b>【環境教育の取組】</b></p> <p>○美化委員を中心に、放課後のストックヤードにおけるゴミ分別指導。</p> <p>○「美化デー」の実施により、組織的・計画的な環境美化を実践している。</p> <p>「世田総クリーン大作戦」として校内の美化活動を、部活動生徒を中心に取り組む。</p> <p>●学校評価「教室、特別教室、体育施設など学校の施設の美化はよい」肯定的評価：生徒 82.3%・保護者 91.3%。</p> <p><b>【募集・広報、経営企画の取組】</b></p> <p>○公開講座は実施できなかった。</p> <p>○グラウンド・テニスコートの施設開放事業も年間1日にとどまった。</p> <p>○東京学芸大学との連携で、教職大学院の実習生を2名受け入れた。</p> <p>○中学校訪問、学習塾訪問、授業公開、体験授業、学校見学、学校説明会、入試相談会、合同説明会、近隣高校合同説明会、中学校主催説明会、地域PTA主催説明会には可能な限り参加した。</p> <p>○学校案内、ポスター、ホームページ、SNS、YouTube等による情報の充実（ホームページの更新回数：339回）。</p> <p>○施設・設備の計画的・段階的改修。</p> <p>○学校徴収金の適切な取扱い、適正な予算管</p>
---	--

<p>【ライフ・ワーク・バランスの推進】</p> <p>①業務の見直しと業務改善を推進することにより、学校教育の質の向上を図る。</p>	<p>理、適正執行。</p> <p>●学校評価「学校は、教育活動の様子を積極的に公表する努力をしている」肯定的評価：保護者 72.5%。</p> <p>●学校評価「窓口や電話の対応は良い」肯定的評価：生徒 87.7%・保護者 91.7%。</p> <p>【ライフ・ワーク・バランスの取組】</p> <p>○5日間の学校閉庁日を適切に実施した。超過勤務時間の多い教員に対し、校長面接を実施し、その後産業医との面接を実施した。</p> <p>●学校評価「計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員がライフワーク・バランスの実現を図っている」肯定的評価：保護者 74.7%・教職員 40.4%。</p>
--	--

## 2 次年度以降の主な課題と主な対応策

普通科、専門学科とは異なる総合学科ならではの教育課程を編成・実施するため、次期学習指導要領の方向性である「『学びの地図』としての枠組み」「教育課程を軸に学校教育の改善・充実の実現」「創意工夫」「主体的・対話的で深い学びの実現」を踏まえ、教育目標に基づき学校経営を行う。

ものづくり、美術、芸術の各分野における指導の強みを生かした幅広い分野の選択科目の中から生徒の主体的な学習に導くとともに、「産業社会と人間（キャリア・デザイン）」「総合的な学習の時間（人間と社会・課題研究）」など、特色ある系統的なキャリア教育を重視し、自ら「学び」、自ら「考え」、自ら「解決する」、志高く総合的な人間力を高めるため将来を「Design」させていく。

### 【主な課題】

- (1) 教育課題に対する組織力の向上
- (2) 学校の魅力発信
- (3) 学力向上に向けた各教科による組織的取組
- (4) 体系的な進路指導及びきめ細やかな進路相談
- (5) 日々の教育活動における「教科・科目」におけるキャリア教育の実践
- (6) 探究活動の充実及び課題研究の質の向上
- (7) バランスの取れた適切な部活動運営

### 【主な対応策】

- (1) 意思決定の仕組みに基づく、分掌間連携を強化
- (2) 文化・スポーツ等特別推薦の活用、SNSの活用
- (3) 土曜寺子屋、週末課題、検定等、各教科の組織的取組を進路実現に反映
- (4) キャリア・コーディネータの試行継続、進路情報の発信、進路保護者会の開催
- (5) キャリア教育の視点を反映させた授業展開及び教科横断型授業の推進
- (6) 探究活動に関する研修等による指導力の向上、発表の場の設定増
- (7) 休養日の確実な設定により、心身にゆとりをもたせる部活動運営の工夫・改善